

飛騨へ、能登へ
新高岡駅をご利用ください!



市長 記者会見資料
令和元年6月5日
新高岡駅利用促進プロジェクトチーム

プロジェクト効果・北陸の自然・歴史文化・食で誘客拡大 新高岡商品開発プロジェクト企画「新高岡FAMトリップ」および 新高岡商品開発プロジェクトによる商品造成の実績について

平成29年12月から、高岡市、JR西日本、富山県等の参画メンバーと連携し、新高岡駅を基点とした飛越能地域への誘客拡大と周遊ルートの定着を目的に進めてきた新高岡商品開発プロジェクトでは、参画メンバーを対象とし、富山県西部の観光地を視察することで、より一層魅力的な首都圏及び関西圏発の旅行商品の設定をいただくことを目的とした視察研修「新高岡FAMトリップ」を実施いたします。

また、本年3月末までの新高岡商品開発プロジェクトの取り組み成果についておしらせいたします。

「新高岡FAMトリップ」の概要

- 日程 令和元年6月10日(月)～11日(火)
- 行程 別紙1参照
- 参加者 大手旅行会社、JR西日本、富山県、県西部6市の担当者等

「新高岡商品開発プロジェクト」の取り組み成果

○商品内容

呉西エリアを含む飛騨・北陸地域を巡るツアー46商品の企画・発売

○販売実績

約38,000人(平成29年12月～平成31年3月の1年4か月間)

○事業効果

- ・販売実績が昨年11月末現在の販売実績(約26,000人)から約12,000人増加。
- ・冬以降の商品では、JRや旅行会社等の宣伝強化の取り組みも相まって新高岡駅の拠点性を活かし、和倉温泉や宇奈月温泉、氷見、射水、能登地域(旬の海の幸)を結ぶルートが首都圏を中心に北陸の「食」として浸透しつつある。

○今後の予定

- ・高岡市では「新高岡商品開発プロジェクト」の取り組みを継続し、新たな魅力を発信していくことで更なる誘客拡大と定着を目指していく。
- ・これまで好調であった北陸の自然・食に加え、元号が「令和」となり、万葉集に注目が集まっていることから、本市がこれまで磨いてきた万葉のふるさととしての魅力を旅行商品として発信してまいりたい。

問合せ先：総合交通課新幹線係(内線)2766、直通0766-30-6505
観光交流課企画・交流係(内線)2419、直通0766-20-1301

新高岡商品開発プロジェクト

「新高岡FAMトリップ」行程表

【6月10日（月）】	視 察 箇 所
11:45 出発	新高岡駅出発
12:30～14:30	氷見市漁業文化交流センター (氷見寿司にぎり体験、昼食) (細工かまぼこ絵付け体験)
14:45～15:00	道の駅雨晴
15:10～15:40	国泰寺
15:55～16:40	高岡市万葉歴史館

【6月11日（火）】	視 察 箇 所
8:20	出発
8:30～9:10	瑞龍寺
9:30～10:20	勝興寺
10:40～11:10	高岡古城公園（朗唱の会 会場見学）
11:20	金屋町着
11:30～12:10	昼食
13:10～13:50	庄川遊覧船（ショートクルーズ）
14:30～15:10	棟方志功記念館「愛染苑」 棟方志功旧居「鯉雨画齋」
16:00	新高岡駅 解散